

広報

昭和49年

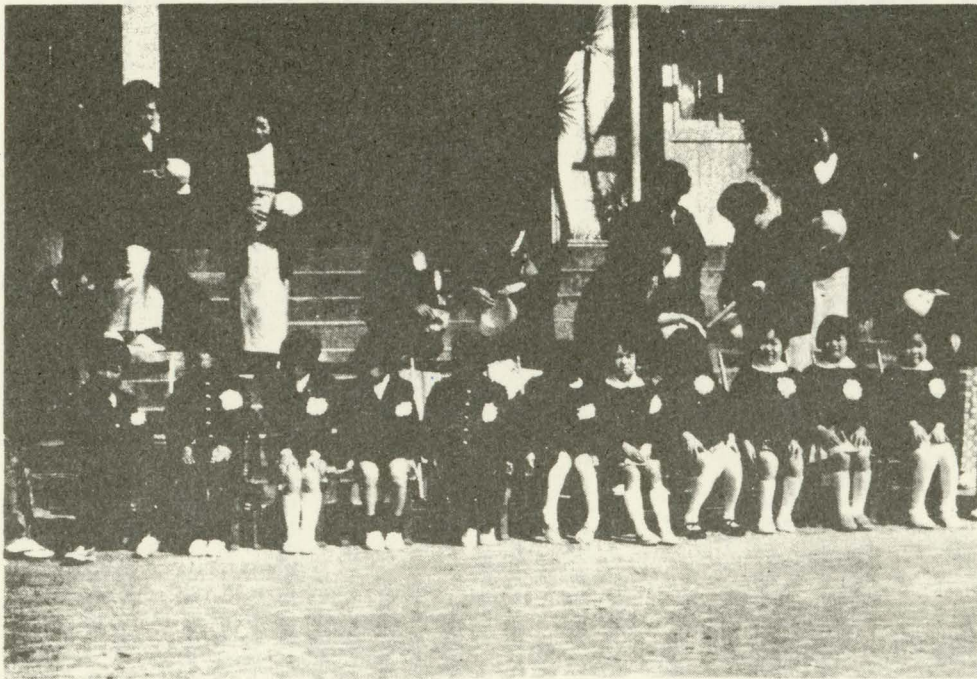
毎月1日

発行



とうえい

NO. 172



(四月三日、下川小学校にて)

きょうから 一年生!

豆辞典

衣 そろそろ厚手のものは片づける準備を……。盛夏服への衣がえにはまだ少々あいだがありますが、からっと晴れた日を選んで冬類はきちんと手入れをしておきましょう。しまいこむときは必ず防虫剤や防湿剤を忘れずに入れましょう。

食 こどもの日にお節句のお祝いにきてくれたお客様に、カシワモチやチマキを出してもてなしますが、いっしょに食事を……となりますと、どうしても竹の子ごはんにサヤエンドウの吸物というメニューが習慣のようです。作り方はそれぞれ家庭のやり方でごはんといっしょに炊きこむものと、ごはんとは別に煮こんでぱつとひろげて手早く混ぜ合わせる方法があります。どちらも風味には変わりません。

住 緑ゆたかなこのごろ、家の小さな庭先にもその緑の小さな生命を伸ばしはじめました。いとおしむのは今のうちです。雑草はあまり強く根が張らないうちに取り除かないと仕末におえなくなります。ひと雨降った翌日とか露じめりの残った朝のうちが取りやすいのですが、取ったまま放っておくとまた根づいてしまいますから、大きな紙袋かポリ袋を用意しておいて取ったらさっさと入れてあと始末もいっしょに済ませましょう。

5月号

人口と世帯

4月1日現在

()内は前年比

人口 7,147人(-107)

男 3,394人(-37)

女 3,753人(-70)

世帯数 1,839戸(-5)

国保新予算

高額医療費の支給と—

—助産費の増額を含む



三月の定例議会において、一般会計とともに審議された国民健康保険特別会計の新年度予算は原案どおり可決され、医療費の改訂、高額医療費の支給、助産費の増額などの理由から一般会計などの繰入れを大幅に増額したにもかかわらず、保険料の引き上げという深刻な事態を迎えることになりました。自己財源に限度のある東栄町が、高額医療費の支給、助産費の増額などの高福祉を実施するために、保険本来の意義である「健康から万一に備え」をよく理解いただき、保険料の引き上げを余儀なくされたいま相互福祉の意味で協力いただけよう新年度予算にあわせて国保の実状を説明いたします。

医療費

大幅な引き上げ

去る二月一日より医療費の大幅な引き上げが実施され、上げ幅は全国平均十七・五割と公表されたところですが、これはすべての診療の平均値であり、たとえば、一ヶ月で全体の診療のうち入院患者の占める割合が特に上昇した月はこの平均値をはるかに上回る医療費の増額となります。

助産費倍額の二万円を支給

過疎地域として悩む東栄町にとっては昨年からの出産率の伸びは明るい話題となっていますが、出産経費に比較していままでの助産費が低いことから、本年度は倍額の二万円を支給されます。これからの増額分についても町はその財源を確保しなくてはなりません。

高額医療費の支給はじまる

—本年七月一日から—

かねてより検討中でありました高額医療費（自己負担額が三万円以上になった場合、その三万円をこえる分）が七月一日より支給されることになりました。いままでは被保険者が重い病気にかかった

これらの事情から新年度予算を検討しますと、一般会計の繰入れについては昨年度の二百万円に対して八百五十万円と四・三倍の引き

上げをしたのと、国庫補助金についても過去の実績の最大限を見込んだにもかかわらず、保険料は昨年度の二千四百万円に対して三千万円と約二十五割の上昇を見込まねばなりません。この理由について

では先に述べた三点を主要因とするさまざまな理由によるものですが、経済情勢が日ごとに悪化する今日、被保険者のみなさんに大きな負担をかけることはできるだけ避けたいとの観点から、今後、国保に対して積極的に働きかける姿勢でおります。

ところで、保険料に関してみなさんのご協力をいただく意味から昨年度の実績による国保会計の実情を紹介してみましよう。

別表に示したとおり、昨年度の被保険者一人に対して町が年間に支払った医療費は約一万八千六百円です。これに対し町が被保険者から納入していただいた保険料は約四千七百円です。しかも、現在老人医療の無料化が実施されていますが、この七割分はすべて国保

が負担しており、さらに一般診療の一人当たり診療費月額が一千九百三十五円に対して老人の診療費は四千七百二十四円と実に二・四億もかかっています。しかも受診に関しても、一般診療に対して約一・五倍と大きく、これが運営上大きな位置を占めていることは否定できません。この実績から比較すると、老人が一人いる世帯では年間に納入していただいた保険料を実に一ヶ月で消費してしまいう結果となります。

したがって、国保の運営について根本的な改善策を検討することもはもとより、本年度の運営に関しても、国保に積極的に働きかけるよう努力いたしますので、保険料についても以上述べた点をじゅうぶんご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

一人当たり医療費に対して保険料の占める割合—年額—
(48・12現在における年間推計)



一人当たり町負担額 18,624円
一人当たり保険料額 4,704円

一人当たり診療費の比較—月額—
()内は受診率%

一般診療	1,935円 (43.0%)
老人診療	4,724円 (62.5%)

昭和49年度 国民健康保険特別会計当初予算

歳入

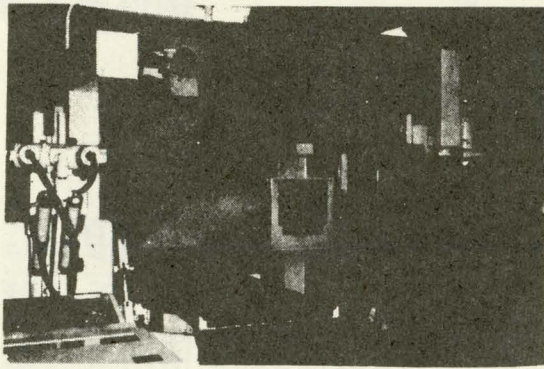
費目	予算額	比率
国庫支出金	86,537千円	66.2%
保険料	30,130	23.1
繰入金等	13,500	10.3
その他	533	0.4
計	130,700	100.0

歳出

費目	予算額	比率
医療費等	124,852千円	95.5%
総務費	4,428	3.4
予備費	1,000	0.8
その他	420	0.3
計	130,700	100.0



山村地域の医療強化に役立つ近代機器整う(写真はエックス線撮影装置)



東栄病院 山村地域の医療強化に

近代機器が勢をぞろい

昨年の一月、鉄筋四階建延べ千七百平方メートルの病棟が完成し、内科、外科、産婦人科の総合病院として山村の公衆予防、医学の普及と診療に努力している東栄病院に、このほど約三千六百万円の子算で「エックス線テレビ装置一式」「臨床検査用機器」「手術・救急用機器」など多くの医療機器が完備されました。

病気の複雑化とそれに対処する医学、手術の進歩にともない、相当の設備を備えた施設が要求されてきましたが、こんどの各種機器がそろったことで山村地域の医療強化にも大いに役立つことであろう。

完備した医療機器は、県費と特別地方債の融資で購入し、なかでも一式一千三百六十六万円の診断用エックス線テレビ装置は、レントゲン室とガラスでしゃ断された安全な操作室で、患者のレントゲン撮影が自由にできビデオに収めた映像をモニターに再現できるようになっていきます。

人事異動

●異動任命 (四月一日付)

- 伊藤 文夫 (カッコ内は前職名) 東栄病院事務次長 (教育課長)
- 内藤 嘉平 教育課長 (住民課長)
- 鈴木 正人 住民課長 (青年の家事務長)
- 原田 伸 保健課衛生係長 (東栄病院事務次長)
- 伊藤 義男 保健課水道係長

局面が出てきたわけで、東栄病院はますます活気に満ちた日々を送っているのです。

●新採用

- 住民課 杉山泰治・西山勝時・鈴木みつる・税務課 小幡洋子・御園天文科学センター所長 金子功
- 同職員 村上愛子・東栄病院医師 藤堂三男・同保健婦 藤堂道子・同助産婦 芦沢よね・御殿保育園 佐々木和代・本郷保育園 原田恵子・本郷保育園給食婦 田村かね子・御殿保育園給食婦 森下恒子・下川保育園給食婦 伊藤みさる・三輪保育園給食婦 竹内初美

●退職 (三月三十一日付)

- 向井ちよ子 (税務課)、磯畑サツキ (下川保育園長)、伊藤政代 (御殿保育園)

9万円余のお金を寄付

— 御園青年団 —

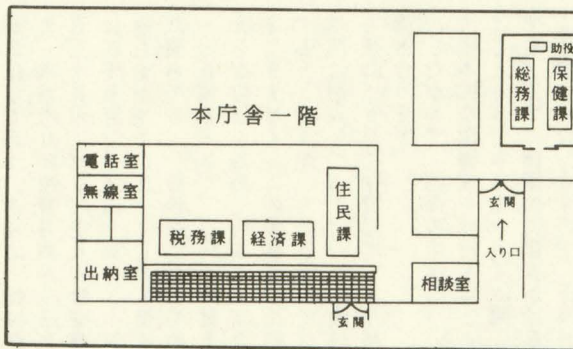
若者の純粹な心に感謝

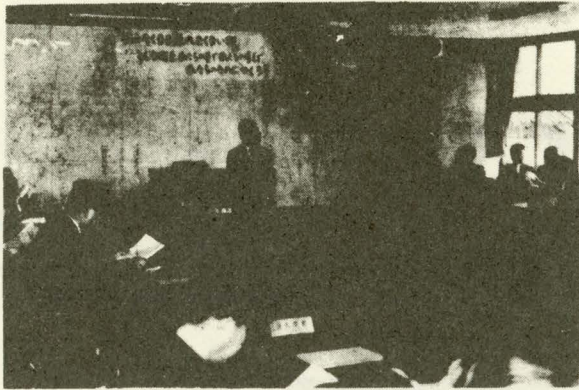
「貴重なる青春の日々の結晶として得た純粹なお金を社会のために使ってください」と、このほど町に九万八千四百四十九円もの多額のお金が寄せられました。

この純粹な気持ちをもった若者は御園青年団員(伊藤一二三団長)七名で、去る三月、昭和四十八年度の決算総会を行なった際、この事について話しあったのです。その結果、全員一致にて社会のために生かそうと決意したのです。このお金は、青年団活動資金にと地域参加とか祭典協力ということで祭りでの売店などを行ない得たものです。また、村の盛り上がるの原動力になろうということも目的に努力したものです。レジャーブ



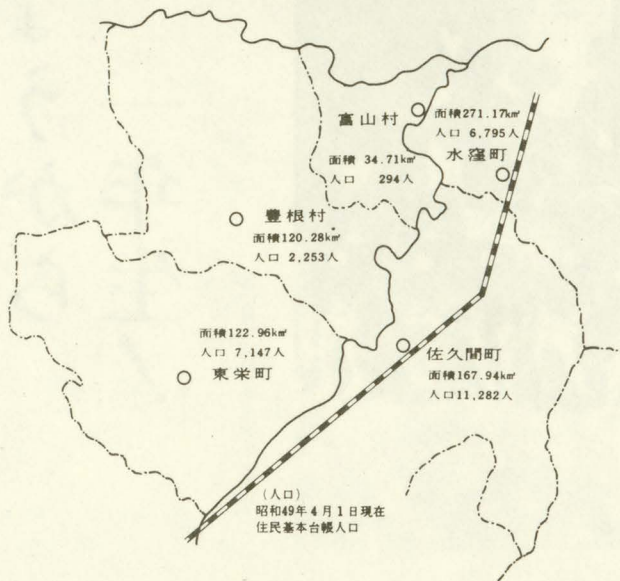
このほど役場では庁舎一階の増改築にともなう、次の図のように当分の間、助役、総務課保健課が集会所にて事務を行なうことになりました。たいへんご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願いいたします。





協議会の目標実現のために有意義な話し合いが

三遠地域町村振興連絡協議会構成町村図



関係町村相互の 信頼を求めて

—三遠協議会開催される—

三遠地域町村振興連絡協議会は昭和四十七年六月、北設楽郡東栄町、豊根村、高山村と磐田郡佐久間町、水窪町の県境を越えた三町二村で構成されている協議会です。この地域の自然的条件は、大自然に恵まれた山岳に緑と清流の自然的景観はかけがえのない資産となっており、昭和四十四年一月、天龍奥三河国定公園に指定された地域でもあり、また、準過疎、過疎地帯としての行政上の悩み多い地域でもあるので、共通した問題を少しでも解決を図るため関係町村が共同し、かつ機能分担を確立しその目標実現を図るための連絡調整機関として発足したものです。

昭和四十八年度総会を四月十二日に磐田郡佐久間町で開催し、事業報告、決算承認と役員改選が行なわれました。続いて、昭和四十九年度事業計画と予算の審議が行なわれ承認されました。特に四十八年度事業の中では関係町村基礎調査の報告は貴重な資料として今後の協議会運営に大きな役割を果たすものとして期待されます。四十九年度の事業計画審議の中では、第一に道路交通環境の整備がもつとも重要な課題として論議をよびました。また、新役員は次のみなさんになりました。

新役員(任期昭和四十九年四月一日〜昭和五十一年三月三十一日)
会長 原田 嘉美(東栄町)
副会長 北井三子夫(佐久間町)
林 宇市(高山村)

町内教員異動

監査委員

小林 文彦(豊根村)
小塩 利男(水窪町)

(カッコ内は前任校)

教員異動(校長)
(退職)金指吉登(中設楽小)
原田利夫(古戸小)、月小一佐々木文雄(教育事務所)、中設楽小一寺部伸宏(田峰小)、御園小一伊藤章夫(月小)、古戸小一丸山吉郎(御園小)、東蘆目小一野中敏郎(黒田小)、黄柳野小一河原慶一(東蘆目小)

(教頭)

下川小一磯畑宏(教育事務所)、津具小一小塚一平(下川小)

(教諭)

月小一内藤雅計(上津具小) 鈴木茂子(道慈小)、中設楽小一伊藤寿久(坂場中) 福田昌史(新任) 中央小一梅本好道(中設楽小) 木金一(豊根中) 田中孝夫(新任) 下川小一鳥居昭男(奈根小)、伊藤るみ子(新任)、御園小一内藤泰行(下津具小)、足込小一山本利夫(月小)、奈根小一斉藤博己(足込小) 丸山京一(神田小)、栗代小一藤原俊一(奈根小) 青山晃(稲橋小)、古戸小一内藤謙吉(中央小) 田辺雅己(小田木小) 東栄中一後藤哲、有川晃子(新任) 三輪中一高柳力生(田口中) 小早川明和、佐藤幸隆(新任)、振草中一原田忠(新任)、本郷高一山本勝利(三輪中)、神田小一佐々

(講師)

振草中一尾林和代(新任)、
職丸山和行(栗代小)
(社会教育主任任命)
三並春己(富山中教頭)

(事務職員)

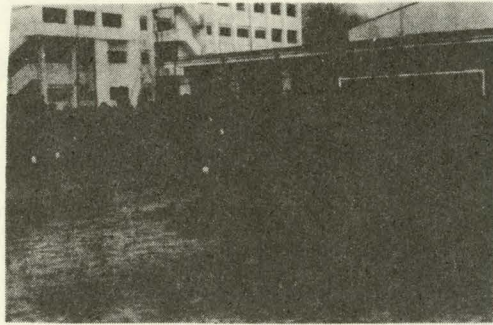
(新任) 月小一正木とき子、下川小一金子説、奈根小一佐々木郁夫、古戸小一村松英俊、
退職 山本節子(古戸小)

48年度観閲式

訓練成果を大いに発揮

一致団結のもとに状観に

東栄町消防団の昭和四十八年度観閲式が、三月二十一日、本郷高校と中央小学校の校庭で行なわれました。これは町消防団の現勢を



原田町長観閲官による関団

町長を観閲官とし、湯浅団長総指揮のもとに関団から始まり機械器具点検、部隊訓練、階てい操法と日程に従って進められ、続いて最も注目すべきポンプ操法が行なわれ、四十九年度は東栄町が県の消防操法大会に出場するとあつて

最後に、例年の新橋をはさんでの大干瀬川河畔における放水訓練に変わつて、中央小学校を火災発生の想定のもとに全分団一致協力のもとに放水訓練を実施し、観閲

式ならではの壮観な姿に参観者を魅了しました。こうしてこの日の日程も一時ごとごとこおりなく終了しました。

住民票など

手数料七十円に

このほど、東栄町使用料および手数料の一部が改正され、昭和四十九年四月一日から次のように変更となりましたのでよろしくお願ひいたします。

- 住民票、印鑑証明書、身元証明書、税務関係の閲覧および証明書など
- 五十円から七十円に(一枚)

戸籍の謄抄本手数料についてはすでに昨年の七月から七十円になっております。

『柿平橋』りっぱに完成

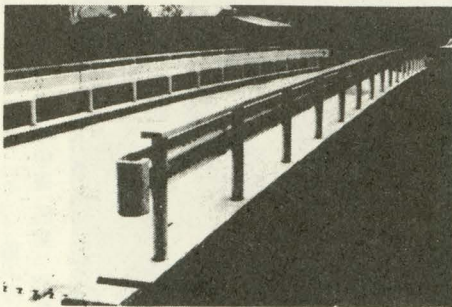
下古戸地内 産業発展に期待

四十七年十月より振興山村交通施策事業として施工されていた「柿平橋」が、このほどみごとに永久橋化いたしました。

この橋は、大字振草字下古戸地内にあつて、国道一五一号線から大干瀬川を越えた町道下古戸栗代線と下古戸浅井線に接続されているもの。これまでの木橋は、昭和三十七年に架設されたもので、最

近になって特に老朽化が進み交通安全の面からも重量制限一ト以下というところで、車の乗り入れもできないほどになっていました。そこでこんどの改築に踏み切つたものです。

永久橋に改築された柿平橋は、昭和四十七年度に下部工、昭和四十八年度に上部工が行なわれ、橋梁延長三十三尺、有効幅員四.5と



地域産業発展期待せるる「柿平橋」

いうりっぱなもの。まず、四十七年度事業として行なわれた下部工(橋台、取付通路)は、事業費七百二十七万円を投入し、地元の丸金建設有限会社が。上部工は四十八年度に名古屋に事務所を置くトピー工業株式会社が一千五十三万円の事業費ですべての工事を終えました。柿平橋の完成によって、大型自動車も通行可能となり、一日でも早く町道の完成がまたれます。また、これをとりまく地域の産業振興に大きな役割をもつものと期待されます。

ふるさと歌壇

宮下 茂選

三月詠草歌 第一四五回

つもがたに伸びゆく秀先揃ひる若杉林は陽に光りをり

からからと空かんとばし乾きたる畑吹きぬくる土色の風

訪ずるる客なきままに戸をしめて雪降る宵は早寝せむかも

籠あけてたちやりたるひよの来て春陽の庭に友呼びており

節高き手に拾いたるさざれ石このひとつにも過去はあるべし

さらさらと舞いきて消ゆる庭の雪便り来ぬ子に想いはつもの

光りつつ氷のかけら川淵の水面しずかに次々流るる

黄水仙ふくらみ初めし朝なりわれもうす色のセーターを着む

岡田 つぎ

伊藤 静

金田つたへ

後藤八重子

原田 芳子

内藤 すへ

佐々木 憲

金指 節子

あなたへの コーナー



走る県政教室に 参加してみませんか

三河湾スカイラインなど見学

愛知県では、県民のみなさんに県政を正しく理解していただくために、無料観光バスによる「走る県政教室」の参加者を募集しています。

特に六月は、東栄町を出発するコースがありますので、お誘い合わせのうえ応募ください。なお、他のコースもありますので、詳しいことは申込み先へ気軽におたずねください。

一、日時

六月十一日(火)

午前九時出発

二、出発(集合)場所

東栄町役場

三、募集人員(参加定員)

五十人(バス一台)

四、費用

無料(出発地までの往復交通費と昼食は参加者負担)

五、見学施設

三河湾スカイライン、三河繊維技術センターなど。

六、応募資格

県内に住む十八歳以上のかた

七、応募方法

はがきに、希望コース(東栄発コース)、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入のうえ、六月一日(土)までにお申込みください。なお、二人一組でも応募できます。

名古屋市中区三の丸三丁目一番

八、申込み先

自動車税の納期が 年一回になりました

五月十五日～三十一日まで

地方税法一部改正にともない、昭和四十九年度から自動車税の納税が五月十五日から五月三十一日までの年一回に改正されました。したがって、自動車をお持ちのかたは従来自動車税を四月と十月の年二回にわけて納税していましたが、昭和四十九年度からは年一回五月にお手もとへお届けする自動車税納税通知書によって、前記納期内に一年分を納税していただくことになりましたのでおまちがえないようご注意ください。

なお、自動車税についての問い合わせは、設楽事務所税務課におたずねください。

昭和四十九年度

東栄町消防団役員

◇本部役員	(敬称略)
团长 湯浅 敬介	(本郷)
副团长 伊藤 利之	(御殿)
伊藤美智男	(振草)
花山 義道	(御園)
◇分团长	
第一分団(御殿)	村松 寿雄
第二分団(本郷)	岡田 互
第三分団(下川)	丸山富一郎
第四分団(園)	中尾 忠切
第五分団(三輪)	原田 巖
第六分団(振草)	小野田 正
本部(役場)	小野田 武

町協議会役員

(婦人会) 決まる

◎新役員の顔ぶれ (敬称略、書記、会計、監査、広報委員は地区婦人会会長兼務)	
会長 原田 芳子 (月)	
副会長 前崎 久子 (本郷)	
佐々木弘子 (中設楽)	
書記 鈴木 正子 ()	
会計 青山 馨 (古戸)	
監査 青山 秋子 (本郷)	
広報委員 沢本 元子 (三輪)	
(以上協議会役員)	
月 婦人会会長 松山 浪江	
下川 " 安藤 房子	

東栄町青年団役員

◎東青協新役員 (敬称略)	
会長 洞口日出夫 (園)	
副会長 山本 由一 (三輪)	
書記 筒井 吉人 (御殿)	
荒河ともゑ (本郷)	
伊藤 真澄 (振草)	
伊藤 喜剛 ()	

二号(千四六〇)愛知県広報室広聴課 電話(〇五二)九六一一—二

九、参加者の決定

応募者が定員をこえた場合は、抽選により決定のうえ、応募者全員に文書でお知らせします。



おめでた

(出生)

熊谷 順子	幸好	住所 本郷
佐々木 牧	徹	"
水本 尚邦	富之	振草
青山 勝	政吉	"
熊谷真理子	三治郎	"
荒河 紀子	晃	中設楽
鈴木 健介	隆喜	御園
かなしみ (死亡)		
氏名年齢	世帯主	住所
久田伊佐美(17)	利富	西園目
種島けさの(73)	金之助	本郷
佐藤 しも(72)	森春市	月
伊藤 とう(91)	信市	振草
鈴田 あき(71)	由夫	三輪
磯畑 ミチ(66)	宏	川角

御園 婦人会会長	高橋 和子
足込 " "	新指 松栄
東園目 " "	加納あさゑ
西園目 " "	大野 承子
栗代 " "	原 巴
小林 " "	内藤きぬよ